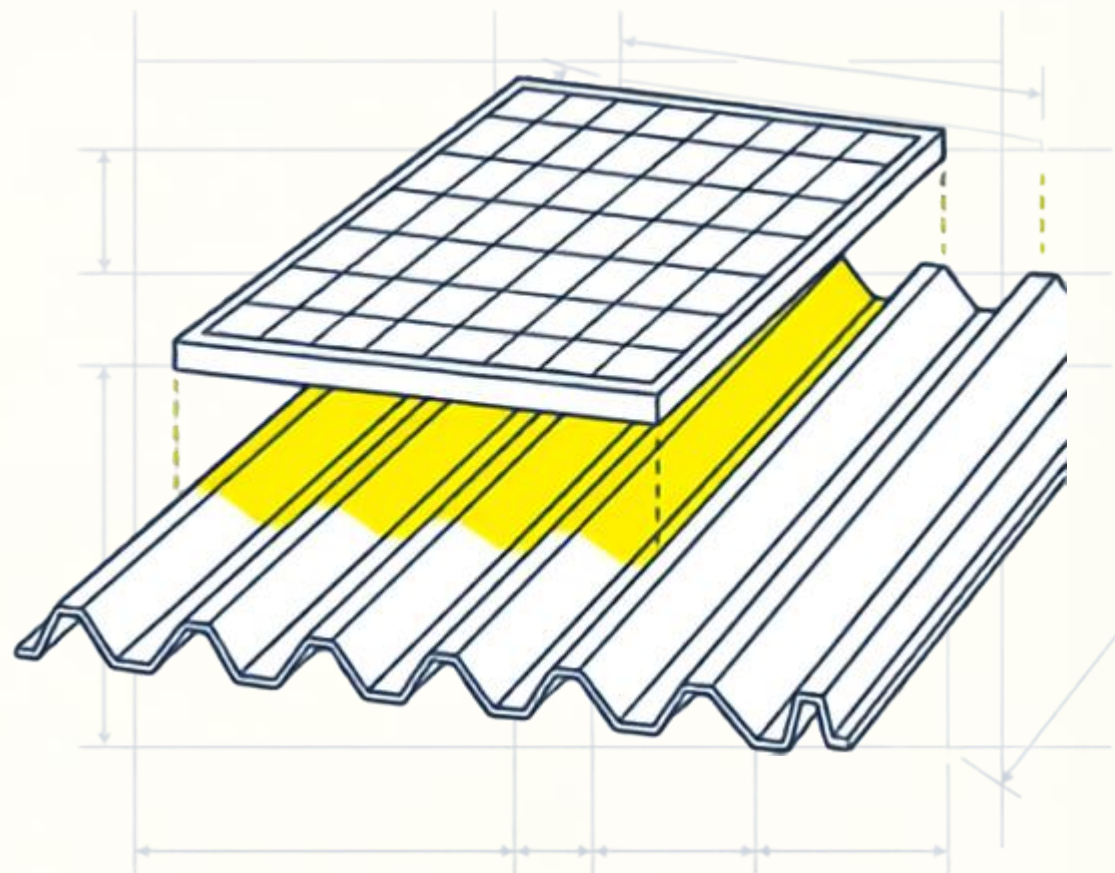


太陽光パネル設置業者様・屋根貸し事業者様へ

ソーラーパネルを載せる前に、 屋根を「20年仕様」にする。

設置前の折板屋根 遮熱・防錆コーティングによる、
戦略的B2Bパートナーシップのご提案



株式会社スケッチ
ビジネスマネジメント

御社（設置業者様）が得る3つの実務メリット



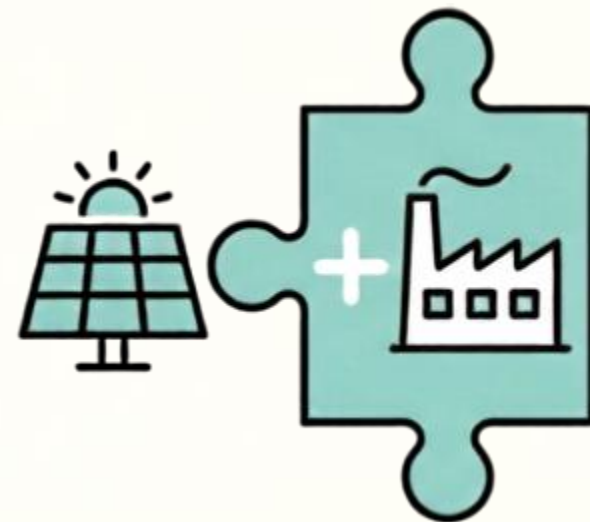
1. 設置できる屋根が増える

屋根の劣化や雨漏りの不安を理由に見送っていた案件が、塗装で状態を整えることで設置可能案件に戻る。



2. 出口・保証リスクを消す

保証期間内の架台の早期腐食トラブルや、屋根貸し契約満了時の撤去・原状回復（屋根の補修範囲）をめぐる揉め事を未然に防ぐ。



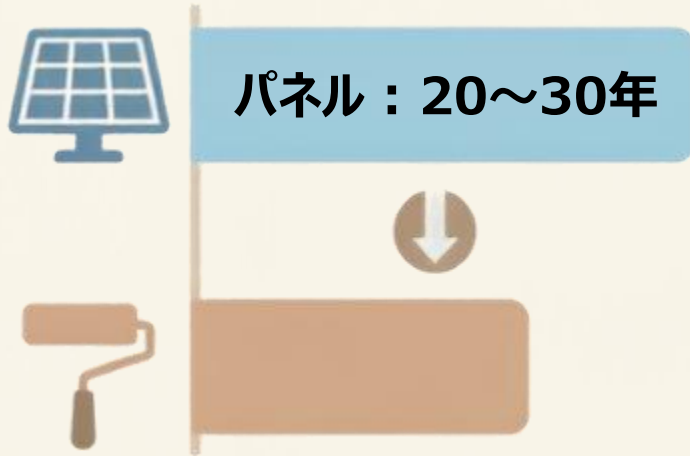
3. 提案の幅が広がる

「熱中症対策（義務化対応）」や「20年の維持費圧縮」など、太陽光単体では届かない決裁ルート経営課題にアプローチする武器になる。

ソーラーパネル設置「前」の屋根塗装が不可欠な理由

Point 1

パネルと塗装の 「寿命の差」



一般的な塗装：10～15年
(屋根の寿命が先に尽きる)

Point 2

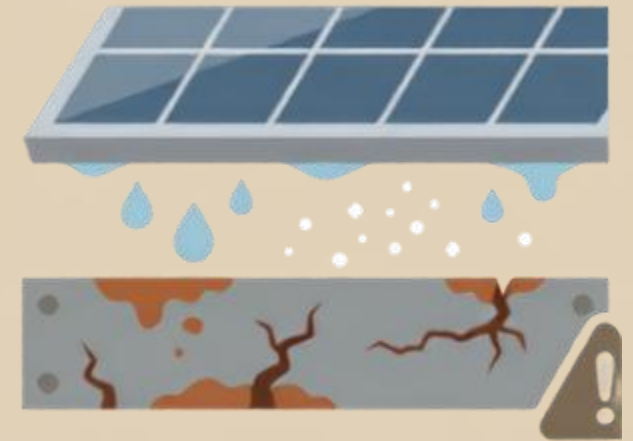
設置すると 「二度と塗れない」



パネルの下は手が入らないため、
設置前に20年以上もつ仕様にする必要があります。

Point 3

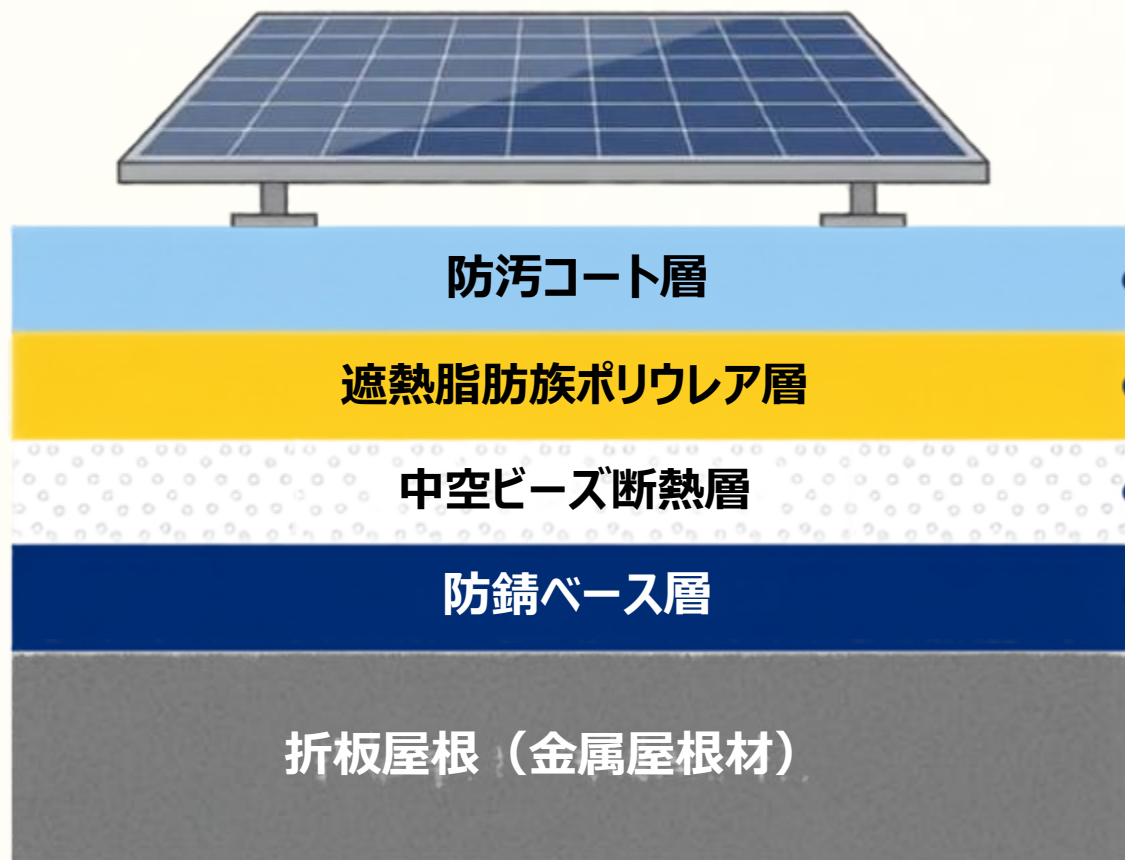
パネル下は 「錆やすい」



結露や塩分の滞留により、設置からわずか1～2年で急激な腐食が進む恐れがあります。

省エネトリプルガードコートの防御ライン（4層構造）

遮熱と防餌を、1回の施工で同時に入れます。



防汚コート層（スーパーガラスバリア）：
超親水効果で汚れを防ぎ、遮熱性能を長く維持する最表層。

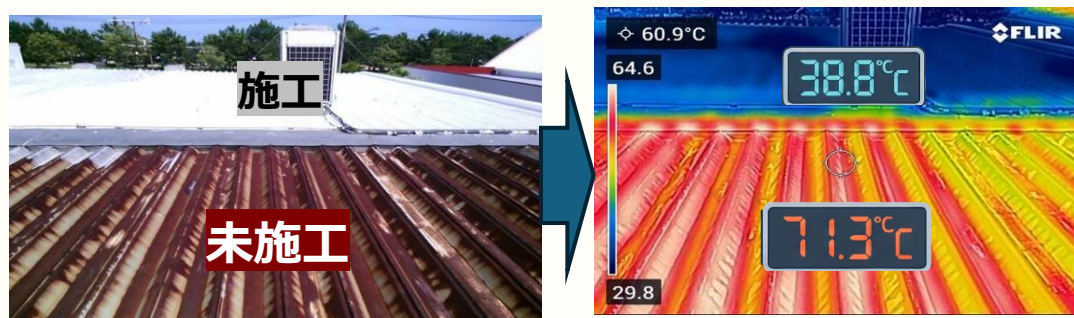
遮熱脂肪族ポリウレア層（省エネシールドPu）：
強力なUV価性と防水性。塗替えサイクルを20年へと延ばし、パネル稼働期間と一致させる。

中空ビーズ断熱層（省エネカバーコート）：
中空ビーズを60%含有（通常は30～40%）。
空気層で熱伝導を強力に遮断。

防錆ベース層（ラストシールド）：
10年間の防錆保証。架台の電食と落滴腐食に対する「最初の防衛線」。

表面温度 20~30℃差。圧倒的な遮熱断熱効果。

折板屋根、表面温度



折板屋根温度差

-32.5℃

室内屋根、表面温度



室内屋根温度差

-20.5℃

屋根表面温度が
最大32.5℃低下

71.3℃あった屋根表面が38.8℃
まで下がり、建物への熱の侵入を
入り口で遮断します。



室内天井の温度も
20.5℃ダウン

天井からの輻射熱(放射される
熱)が抑えられ、作業者の頭上の
熱気が解消されます。



WBGT(暑さ指数)を
確実に下げる

空調がない倉庫でも、天井温度を
下げることで熱中症リスクの指標
であるWBGTを抑制可能です。



空調の消費電力を
大幅に削減

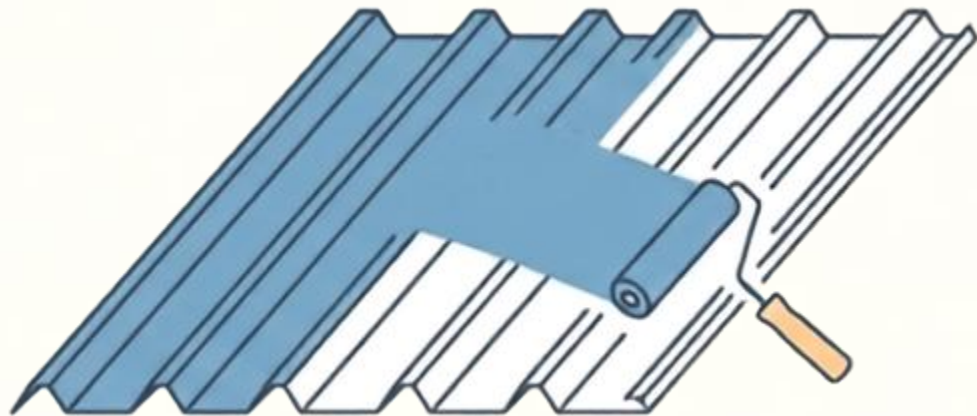
屋根からの熱流入が減ることで
冷房負荷が軽減され、電気代の
コストダウンに貢献します。



解決策：太陽光パネル2段構えの防銹策 — 塗ってから、載せる

1

Step 1 (設置前 - 折板屋根へ)

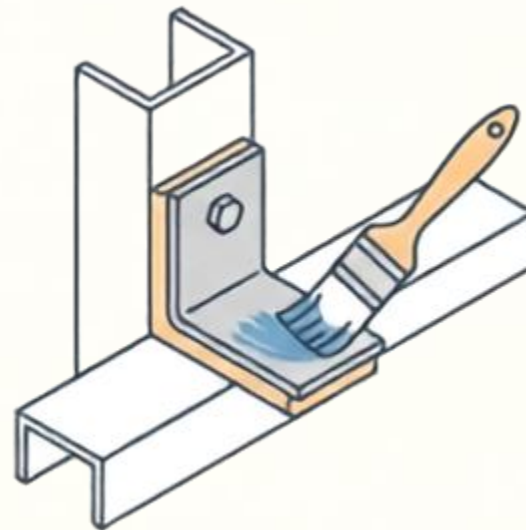


Step 1 (設置前 - 折板屋根へ)

20年仕様（トリプルガードコート）を塗り、
パネルと屋根のライフサイクル周期を合わせる。
もう開けられない面を先に守る。

2

Step 2 (設置時 - 架台へ)



Step 2 (設置時 - 架台へ)

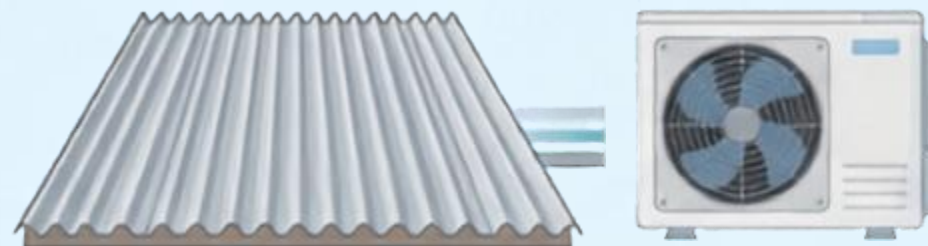
異種金属が接する部分を被覆し、電食の起点をつくらせない。

課題に合わせた2つの施工範囲。



Type A（折板屋根のみ）

- ✓ 熱中症対策：屋根からの熱流入を遮断
- ✓ 屋根の長寿命化：防錆10年保証・20年耐候
- △ 空調電気代削減：約15%削減



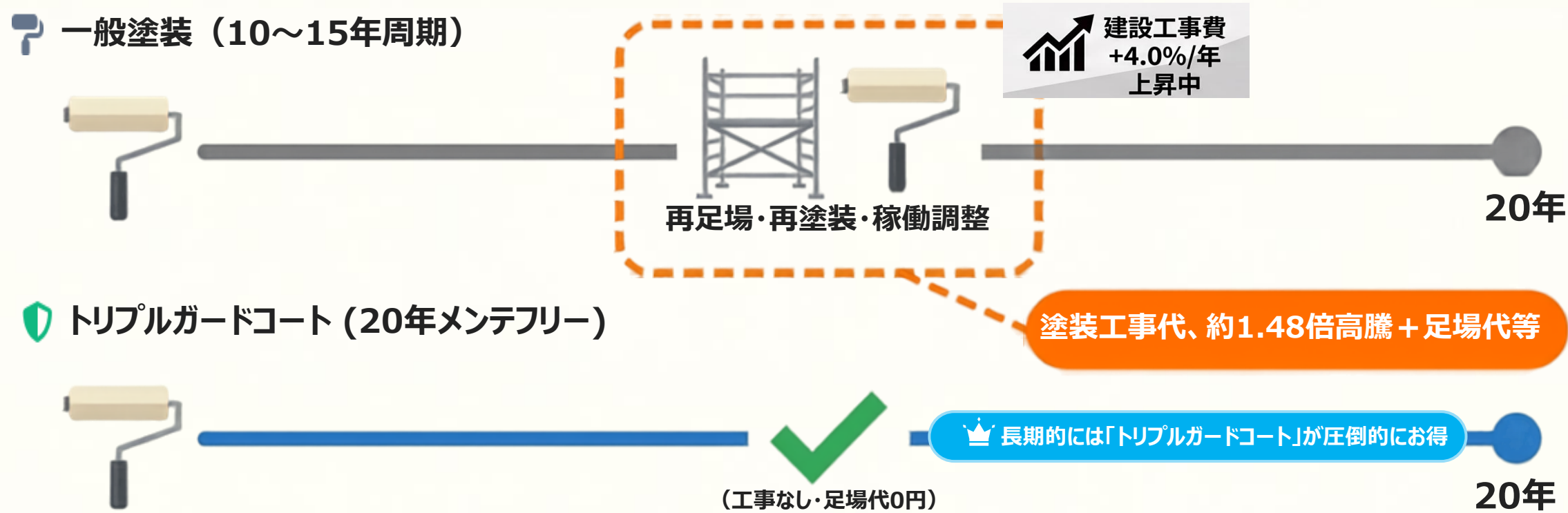
Type B（屋根 + 空調室外機塗装）

- ✓ 熱中症対策：屋根からの熱流入を遮断
- ✓ 屋根の長寿命化：防錆10年保証・20年耐候
- ✓ ◎ 空調電気代削減：約30%削減（倍増）
室外機の吸込温度を下げることで負荷を大幅軽減。

電気代削減を狙うなら、室外機もセットでの塗装が効果的です。

20年間の屋根維持コスト比較

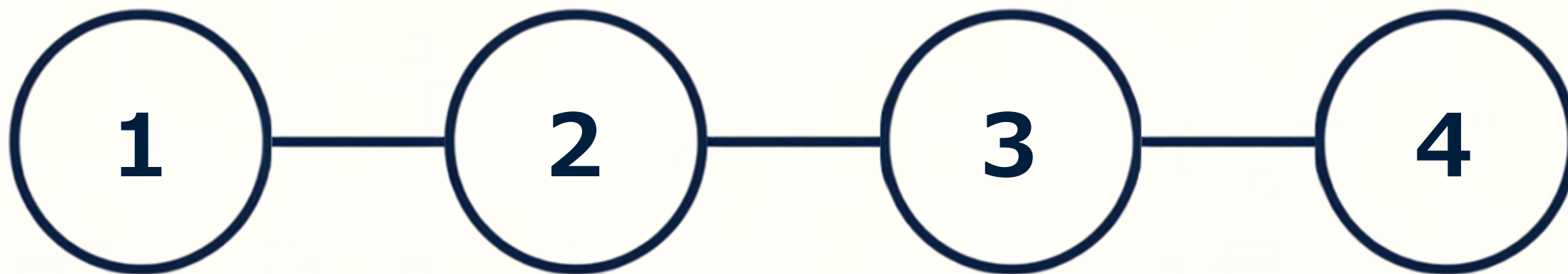
ソーラーパネルの問題解決 + 屋根塗装の投資回収・長寿命化



工事費の上昇で、損益分岐は 4,400円 → 3,548円/㎡ + 足場代等 へ 相場レンジは4,000～7,000円/㎡。上昇を入れれば下限4,000円でもトリプルが安い。 分岐点は塗装単価のみの比較で、足場は両案とも別途。足場を入れると一般塗装は2回組むため、 分岐点はさらに下がる（足場2,000円/㎡なら2,354円/㎡）。	上昇を見込まない	建設工事費 +4.0%/年	労務費 +6.0%/年
	4,400	3,548	3,153
	円/㎡	円/㎡	円/㎡

工事費上昇率は国土交通省「建設工事費デフレーター」および「公共工事設計労務単価」（13年連続上昇）に基づく想定。10年後の倍率は +4.0%/年で1.48倍、+6.0%/年で1.79倍。金額は名目値で、現在価値への割引は行っていません。一般塗装の単価は公開相場（4,000～7,000円/㎡）、トリプルガードコートは8,800円/㎡、いずれも税抜・足場別。御社の実勢単価での差し替えが必要です。

アクションプラン：まずは1案件、一緒に組み立てさせてください



案件情報の共有

屋根面積、屋根形状、
塗替え履歴、着工予定
時期の共有。

現地調査と数量算出

太陽光の現調と同時に
実施。塗装可否と正確
な数量を確定。

見積りと提案書作成

御社から施主様へそのまま
出せる「20年コスト比較付
き」の提案書をご用意。

設置前施工

太陽光の工程に合わせて
施工。架台被覆を行い
パネル設置へ引き継ぎ。

御社の体制に合わせた3つの協業パターン



Pattern A: ご紹介 (Referral)

施主様をご紹介いただき、
当社が直接ご提案・ご契
約・実務実行。御社の手離
れが最もよい形。



Pattern B: 協力加工 (Subcontracting)

御社が元請として契約し、
当社が屋根塗装を担当。
窓口は御社に一本化。



Pattern C: 共同提案 (Joint Proposal)

太陽光と屋根塗装をひとつの
提案書にまとめ、同席してご
説明。設置提案案として最も
通しやすい形。